

	<h1>大和田小だより</h1>	めざす学校像 子供の自己有用感を向上させ、主体的・協働的な学びを大切にする学校 ～すべての子を大和田小の光に～	5月の生活目標
開校明治七年 開校149年目	学校教育目標 かしこく やさしく がんばる子	5月号 令和5年5月1日 新座市立大和田小学校 児童数 780名・学級数 27学級	時刻を守って生活しよう
大和田小は新座の始めの学校。来年度開校150周年です。			集合の時刻 授業の始まりと終わり 休み時間 下校時刻

臯月 明るいあいさつで、笑顔溢れる学校にしよう 校長 近藤章宏

緑豊かな、さわやかな季節になってまいりました。自分自身が新たな学校に着任したことで毎日新鮮な気持ちで過ごしていることもあるのでしょうか、子供たちの様子の一つ一つが、とびきり愛おしく思えます。

あいさつ、礼儀、言葉遣い

全校集会で子供たちに、こんなお話をしました。あいさつのことです。

「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」「おやすみなさい」など、あいさつは他の人と仲良くなるための魔法の言葉です。これからも続けて自分から進んであいさつをしましょう。どうしてかという「自分がここにいますよ」とお知らせすることになるからです。そしてあいさつをした人と「仲良くなりたいです」とお知らせすることになるからです。仲良くなるための方法ですから、「明るく」「はっきりと」伝えた方がいいですね。

嬉しいお話をいただきました。4月25日に本年度最初の学校運営協議会が開催されました。地域の代表の方々へ学校経営方針や、子供達の様子を協議する中で、地域の方からの見立てとして本校の子供達の登下校中の、あいさつの様子は良くなっているということでした。マスクをしても目であいさつできていたり、首を下げたりして、あいさつする気持ちが伝わってくるということでした。また慣れてくると少しずつ声も出るようになってきているようです。感染症不安の中で、子供たちは声も出しづらい生活でした。地域の方々からの温かい見守りの中で、少しずつふれあいを取り戻していきたいと思えます。



上級生、頑張っています

年度の初めですので、絵の具セットなど、かさばる教材を子供たちは持ってきます。通学班で登校する際には、多くの班の班長などの上級生が1～2年生の重たい教材を代わりに持つ

て登校してくれている場面も見かけます。また6年生が1年生の教室で、朝の支度や、給食の片付けの手伝いや、一緒にお掃除をしてくれています。これからも上級生が常に下級生を助け、手本になれる大和田小学校の伝統を受け継いでいきたいと思えます。



交通安全教室・避難訓練の実施

1年生の交通安全教室では市の安全担当者の方・交通指導員さんの協力で信号の見方、道路の渡り方を学習しました。本校の通学路は旧街道に沿って伸びており、たくさんの道路を横断してこななければなりません。自分の安全はまず自分で守れるようになる必要があります。登下校に際して、地域での日頃からの見守りに感謝いたします。

避難訓練は地震を想定した、避難行動訓練と引き渡し訓練を連日にわたって実施いたしました。教室も変わり避難経路も大きく変わるので年度の早い段階で実施しています。また引き渡し訓練の際に申し上げましたが、本市では**震度5以上の地震**の場合保護者への対面での引き渡しが定められています。これは学校が危険だからではなく、保護者が帰宅困難になり、子供たちが家に帰ってもご家族が不在な状況を避けるための対応です。多くの方にご参加いただきありがとうございました。



本年度の生徒指導上の通年の目標は「明るいあいさつで、笑顔溢れる学校にしよう」です。毎朝、登校してくる子供達を迎えるために元の正門の場所や、南門に立ってあいさつをしています。どの子の表情もキラキラと輝いて見えます。また少しずつですが、マスクを外して登校してくる子も増えてきていて、顔が見えることの喜びを感じています。